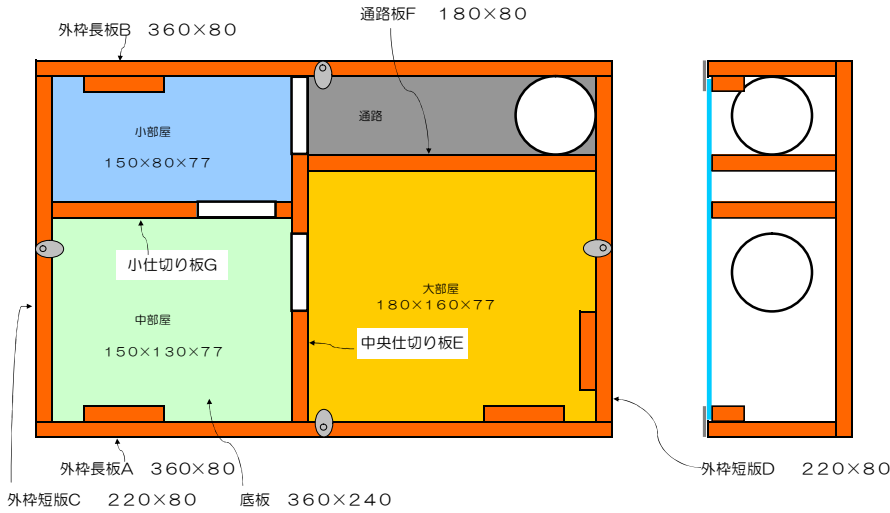


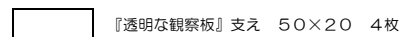
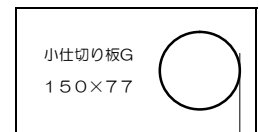
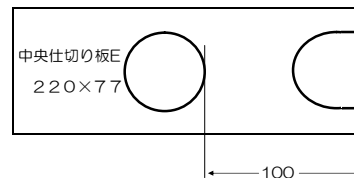
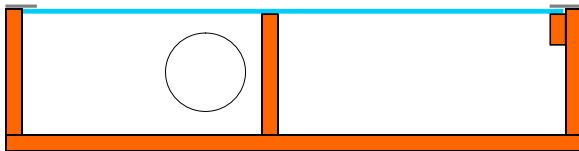
『地下型の巣箱』G1型（大型ゴールデン用）試作レベル



寸法（単位：mm）

外形寸法	360×240×90
通路	180×50×77
小部屋	150×80×77
中部屋	150×130×77
大部屋	180×160×77

3部屋の広さ合計
60.3平方センチ



『透明な観察板』
透明アクリル板（塩ビ板）339×219 厚さ2ミリ以上
落とし込みになりますので寸法は若干小さめにカットします。

ゴールデンハムスターは力が強いので、『透明な観察板』を持ち上げてしまいます。持ち上げられないように工夫してください。この例では、額縁の裏板を止める留め具を用いています。

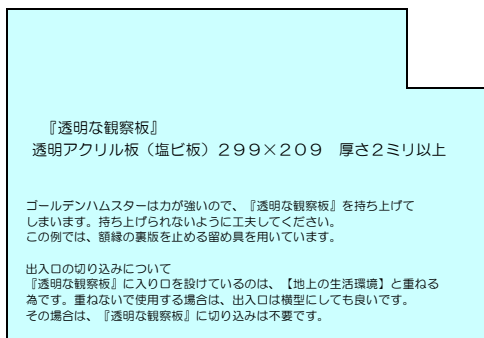
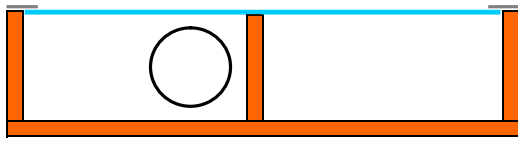
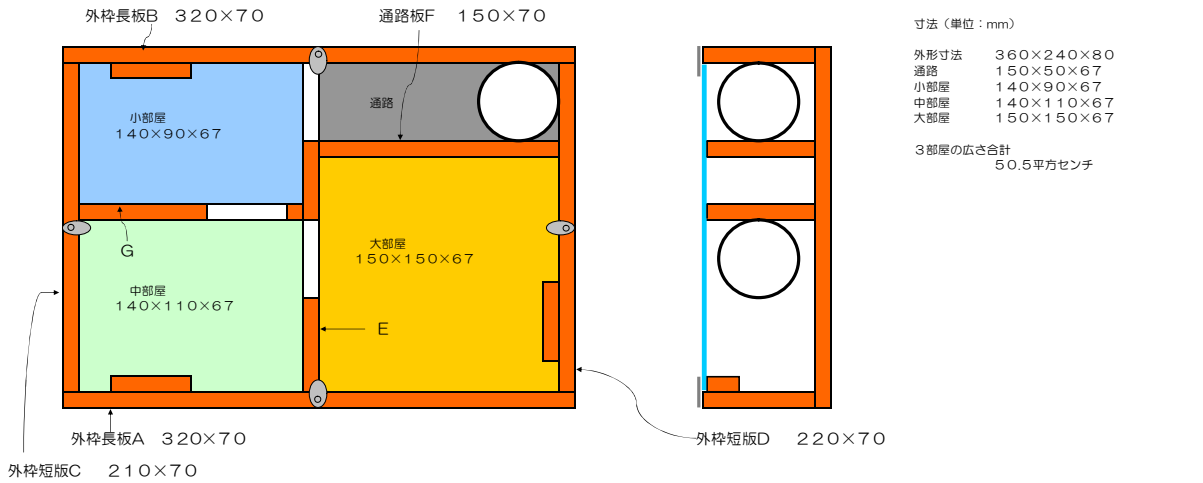
出入口の切り込みについて
『透明な観察板』に入口を設けているのは、【地上の生活環境】と重ねる為です。重ねないで使用する場合は、出入口は模型にしても良いです。その場合は、『透明な観察板』に切り込みは不要です。

- 穴の径は50ミリ。ただし、まん丸である必要はありません。
- 室内の高さは80ミリ以上は高くしないでください。70ミリでも良いです。
- 板の厚さは10ミリ、ただし12ミリの板を使用する場合は通路の幅50ミリは確保してください。
- 板材は桐・アカチスが望ましい。無ければ、樹脂の臭いの少ない材質がお勧めです。ただし、ホームセンターなどで入手しやすい杉や松（ホワイトパイン）材などを使用しても気にしないハムスターも多い。
- 透明な観察板の材質は、アクリル板が良いが廉価な塩ビ板でも良い。
- 釘を多用して、接着剤は最小限にしてください。

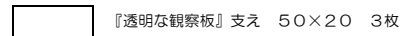
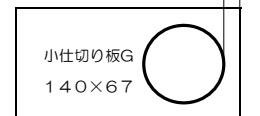
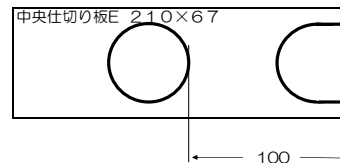
『地下型の巣箱』をゴールデンハムスターの巣箱にする時の注意

- ◎ トイレ対策は慎重に ● オシッコ 『地下型の巣箱』を家に行っているジャンガリアンは、トイレ室でするオシッコの量が少ないです。しかし、ゴールデンは沢山します。
- ◎ 室内換気 ● ゴールデンハムスターの呼吸量の多さは、小さなドワーフ系とは比較にならないほど多いです。その分水蒸気も多く吐き出します。ジャンガリアンハムスターの場合には、木部が自然に吸湿してくれるので、特別な管理は不要ですが、ゴールデンハムスターの場合は、換気と湿度対策の両面で通気口の設置と管理が必要です。特に夏は巣箱の底を浮かすことによって、適度な換気、湿度管理をしてください。しかし、空気が流れるほどの換気は必要ないし、狭い。

『地下型の巣箱』G2型（小型ゴールデン用）試作レベル



- 穴の径は50ミリ。ただし、まん丸である必要はありません。
- 室内の高さは70ミリ以上は高くしないでください。60ミリでも良いです。
- 板の厚さは10ミリ、ただし12ミリの板を使用する場合は通路の幅50ミリは確保してください。
- 板材は桐・アガチスが望ましい。無ければ、樹脂の臭いの少ない材質がお薦めです。ただし、ホームセンターなどで入手しやすい杉や松（ホワイトパイン）材などを使用しても気にしないハムスターも多い。
- 透明な観察板の材質は、アクリル板が良いが廉価な塩ビ板でも良い。
- 釘を多用して、接着剤は最小限にしてください。



『地下型の巣箱』をゴールデンハムスターの巣箱にする時の注意

- ◎ トイレ対策は慎重に ● オシッコ 『地下型の巣箱』を家にしているジャンガリアンは、トイレ室でするオシッコの量が少ないです。しかし、ゴールデンは沢山します。
- ◎ 室内換気 ● ゴールデンハムスターの呼吸量の多さは、小さなドワーフ系とは比較にならないほど多いです。その分水蒸気も多く吐き出します。ジャンガリアンハムスターの場合には、木部が自然に吸湿してくれるので、特別な管理は不要ですが、ゴールデンハムスターの場合は、換気と湿度対策の両面で通気口の設置と管理が必要です。特に夏は巣箱の底を濡らすことによって、適度な換気、湿度管理をしてください。しかし、空気が流れるほどの換気は必要ないし、嫌いです。